

Functional Expressions in Use

日常行為編

BOOK 1



はじめに

英語学習の大きな目標のひとつは、日常会話を英語で行う力を身に付けることです。実際、「英語を使って何ができるようになりたいか」という質問をすれば、必ず上位に出てくるのが「英会話」です。会話は英語を使う場面で最も基本的な行為です。折角英語を勉強するのであれば、せめて英会話ぐらいと思うのは当然です。しかし、通常の教科書で学んでいるだけでは会話力はなかなか身に付きません。日常会話の特徴を理解した上で、トレーニングをすることが必要です。

会話の大きな特徴のひとつは、慣用的な表現が大変よく使われるということです。「おはよう」「ありがとう」「いただきます」「おつかれさま」などすべて慣用表現です。この慣用表現の会話における使い方を学べば、英語での日常会話が身近に感じるようになるはずです。

この Functional Expressions in Use のBook 1 では、「日常行為」に注目します。Book2 は「挨拶・感情表現」、Book 3 では「コミュニケーションストラテジー」を扱っています。ここでいう日常行為には「提案をする」「依頼をする」「情報を求める」「許可を求める」「反論する」「意見を述べる・差し控える」「謝罪する」などが含まれます。それぞれ、決まり文句があり、それらを修得することで、スムーズな日常行為が英語で行えるようになるはずです。

本書では 32 の日常行為を設定し、それぞれ複数個の会話例を用意しています。本書を一人で使う際には、一人二役を演じてください。会話の状況を思い浮かべながら、気持ちを込めて、役を演じてください。状況がわかれば、自然に気持ちがこもってくるはずです。二人で練習するときは、それぞれの役になってロールプレイを行ってください。俳優が台本を読み、セリフを覚えるのと同じ要領で、会話の英文に息を吹き込むようにしてください。

具体的には、まず、日本語訳に目を通して、やりとりの状況を掴んでください。次に、英語のセリフを声に出して読んでください。声出しの訓練の次には、演技です。なりきりで少しオーバーなぐらいに演じてください。自分の気持ちに乗せて英語を表現できるようになれば、しめたものです。1日に1場面(scene)をカバーするようにしてください。32日で一通り終了です。もちろん、繰り返し練習すれば表現が定着し、会話場面などで表現が自然に口をついて出てくるようになるでしょう。

ここで学ぶ慣用表現はどれも有用なものばかりです。実践の場でも、個々の表現をたくさん使うようにしましょう。

田中茂範

PEN 言語教育サービス代表

慶応義塾大学名誉教授

Characters

| | | | |
|---------------|--------------|--|---|
| Lily Robinson | リリー・ロビンソン |  |  |
| James Stevens | ジェームス・ステイブンス |  |  |
| Emma Wilson | エマ・ウィルソン |  |  |
| Thomas Adams | トーマス・アダムス |  |  |
| Barbara Green | バーバラ・グリーン |  |  |
| Ava Adams | エヴァ・アダムス |  |  |
| Ethan Adams | イーサン・アダムス |  |  |

Table of Contents

| | |
|-------------------------------|----|
| Scene 1. 相手に何かをしたらと提案・助言するとき | 4 |
| Scene 2. 一緒にしませんかと誘う・提案するとき | 6 |
| Scene 3. 食べ物や飲み物や行為を勧めるとき | 10 |
| Scene 4. 申し出・勧めを断るとき | 16 |
| Scene 5. 依頼するとき | 20 |
| Scene 6. 情報を求めるとき | 24 |
| Scene 7. 許可を求めるとき | 27 |
| Scene 8. 許可を出すのを断るとき | 30 |
| Scene 9. 条件付で承諾するとき | 33 |
| Scene 10. 意見を求めるとき | 36 |
| Scene 11. 意見を述べるとき | 38 |
| Scene 12. 同意するとき | 41 |
| Scene 13. 相手の見解を一部認めてから反論するとき | 44 |
| Scene 14. 同意しない・反対するとき | 47 |
| Scene 15. 意見を述べるのを差し控えるとき | 51 |
| Scene 16. 意見がないと言うとき | 53 |
| Scene 17. 相手の意見を質すとき | 56 |
| Scene 18. 確信があるとき | 59 |
| Scene 19. 可能性を聞くとき | 61 |
| Scene 20. 可能性があると言いたいとき | 64 |
| Scene 21. 謝罪するとき | 68 |
| Scene 22. 愚痴・文句・苦情を言うとき | 70 |
| Scene 23. ほめるとき | 72 |
| Scene 24. 念を押す・気づかせるとき | 74 |
| Scene 25. 激励する・行為の継続を促すとき | 76 |
| Scene 26. 相手の行為を制止・禁止するとき | 79 |
| Scene 27. 約束をするとき | 81 |
| Scene 28. 約束をさせるとき | 83 |
| Scene 29. 感謝の気持ちを伝えたいとき | 87 |
| Scene 30. 感謝の言葉に応えるとき | 91 |
| Scene 31. 会えてよかったと言いたいとき | 94 |
| Scene 32. 自分から会話を終わらせるとき | 97 |

1. 相手に何かをしたらと提案・助言するとき

会話をしていて、相手に何かを提案したり助言したりすることがあります。そんなとき英語ではどんな表現を使うのでしょうか。会話例を通じて、みてみましょう。



A: I think I gained weight.

体重が増えた気がする。



B: Why don't you try jogging?

ジョギングしてみたら？



A: I lost my cellphone on the train!

電車の中で携帯をなくした！

B: Maybe you should ask the station master.

多分駅長にきいたほうがいいんじゃない。



A: I did, but they couldn't find it.

聞いたけど、見つからなかったんだ。

A: I need a pair of jeans but I can't find the right size.
デニムが必要なんだけど、ぴったりのサイズが見つからない。



B: I think you should try a different store.
他の店を試したほうがいいと思うよ。



A: Yeah, but I don't want to walk anymore.
うん、でもこれ以上歩きたくないの。

A: I chose green for this design. What do you think?
このデザインに緑を選んだけど、どう思う？



B: It would be better if you used blue.
青のほうがもっといいと思う。



「相手に何かをしたらと提案・助言するとき」の表現

Why don't you...? (…してみませんか)

Maybe you should ... (…した方がいいんじゃないですか)

I think you should ... (…した方がいいと思います)

It would be better if... (…の方がいいでしょう)

2. 一緒にしませんかと誘う・提案するとき

一緒にしませんかと誘ったり、提案したりすることがあります。そんなとき英語では、we/us を伴った表現 (Why don't we...? / Shall we...? / Let's ...etc.) が基本形になります。応答の表現と合わせて、会話の例でみましょう。



A: Why don't we go out for lunch next week?

来週ランチに行かない？

B: That's a great idea.

いいアイデアね。



A: I'll call you when I get my schedule.

スケジュールが決まったら電話するね。



A: I'm worried that I forgot to close the windows.

窓を閉め忘れたか心配です。

B: Shall we go back to the house?

家に戻りますか？

A: Yes, just in case.

はい、念のために。



A: Hmm. I wonder where Thomas is.

ふむ。トーマスはどこだろう。

B: He's never late.

彼は絶対遅れないのね。

A: Maybe we should call him.

彼に電話したほうがいいかもしれないね。





A: I think we should do our homework before we go out to the baseball game.

野球の試合に行く前に宿題をしたほうがいいと思うな。

B: Why is that?
どうして?



A: Because I think we'll be too exhausted when we get back.

だって、帰ってきたら疲れきってるからね。

B: I guess you're right. Let's finish up quickly.
そうかもね。早く終わらせちゃおう。



A: What do you want to eat for dinner?
夕飯に何食べたい?

B: Anything is fine with me.
私はなんでもいいよ。



A: How about Italian?
イタリアンはどう?

B: Sounds great.
いいね。



A: What are you doing this Friday night?
金曜日の夜、何してる？

B: I don't have any plans so far.
今のところ予定はないですけど。

A: I was wondering if you would like to go to dinner with me.
一緒に夕食でも行かないかなあなんて思ってたんだけど。



B: I'd love to.
是非、行きたい。



A: I'm getting hungry.
お腹すいてきちゃった。

B: Me too. Let's get something to eat.
俺も。何か食おうぜ。

A: How about some ramen?
ラーメンはどう？

B: Sounds good! Let's go.
いいね！行こう。



「一緒にしませんかと誘う・提案するとき」の表現

Why don't we...? (…してみませんか)

Shall we...? (…しませんか)

Maybe we should.... (…した方がいいかもしれませんね)

Let's.... (…しましょう)

How about...? (…はいかがですか)

注) “How about (doing) ...?”は、一緒にしませんかと誘うときでも、相手に何かをしませんかと勧めるときでも、通じる便利な表現 (☞「3. 食べ物や飲み物や行為を勧めるとき」参照)。

e.g. How about taking the subway rather than the bus?

(バスよりもタクシーに乗るのはどうですか)

《勧誘に対する応答のバリエーション》

□肯定

Sounds great. (それはいい!)

That's a great idea. (それはいい考えですね)

I'd love to. (是非そうしたいですね)

Yes, just in case. (そうですね、念のため)

□否定

No, I can't. (いえ、できません)

I'm afraid I can't.... I have to... (あいにくできません。…しなくてはならないので)

I'd love to, but I can't. (そうしたいのはやまやまですが、できません)